

街の元気 ● みんなの元気を応援します

VIVA city

ビバ
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報 113

第46回定時総会を開催
WEB学術講演会 2021
新・体の常識
～顎関節症編～

VOL.
27

2021
June

おかえりなさい～金沢港クルーズターミナル～

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。

ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

ビバ
シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報113

VOL.
27

2021
June

C O N T E N T S

1 巻頭言

会員とともに課題の克服を! 嶋谷 清

2 新年度スタートにあたって——

本会顧問ご挨拶

5 第46回定時総会を開催

7 令和3年・4年度 役員紹介

9 喜びの受賞者

11 惜別 木山時雨先生を偲んで

13 WEB学術講演会 2021

17 新・体の常識 ～顎関節症編～

18 石川県柔道整復師協同組合 通常総会を開催

新入会員紹介

19 EDITOR'S VOICE 私とカメラとストロボ

21 トピックス

巻頭言

かんとうげん

新年度スタートにあたって——

会員とともに課題の克服を！

ビバ・シティご愛読の皆様には、平素より公益社団法人石川県柔道整復師会の活動にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

新型コロナ発生から1年半以上が経ち、その被害が多方面に及ぶ中でも本会会員に感染者が出ていないことは幸いなことであり、皆様方の感染防止対策の徹底に感謝申し上げる次第です。ワクチンの接種が順次開始されていますが、引き続き感染拡大防止に努めて頂きますようお願い申し上げます。昨年来、このコロナ禍により本会も多くの公益事業中止を余儀なくされておりますが、それによって生じた余剰金の取り扱いについては、公益法人法に逸脱しないよう理事会で検討を進めているところです。

昨年、今年と、本会の礎を築いて来られた先生方が相次いでお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りすると同時に、先達の築き上げてきたものを後世へ引き継ぐ責務について考えさせられました。その一つが柔整会館です。すでに築40年が経過し改修工事は不可避ですし、近い将来は改築も必要でしょう。修繕については、会館建設準備基金を使用することで会員の皆様にご負担をかけることなく行える予定です。今後は会員の減少も想定されており、それに伴って発生する諸々の問題については日整でも対策が検討されています。本会においても皆様からのご提案を頂きながら最善策を検討していかなければなりません。

本年度から日整より骨観察装置(エコー)が貸与されることになり、重点的に講習会を開催するようにとの指示を受けて計画しております。今後、接骨医学会・全国地区学会においても研

■ 嶋谷 清

(しまや きよし)
(公社)石川県柔道整復師会 会長

【プロフィール】

平成9年より6期12年間にわたり理事を務める。加賀支部長ほか要職を経て平成21年に副会長、平成27年に第11代会長に就任。現在4期目。趣味は釣り。



究発表を募集することになりますし、すでに導入して専門学会で報告をされている会員もいます。養成学校ではすでに授業が始まっており、国家試験にも組み込まれてきます。良質の施術を提供するため、我々も同様に学習し技能を習得していかなければなりません。また高齢化社会に向けて、柔道整復師機能訓練指導員としてのスキルの獲得も重要な課題です。介護予防を視野に施術所内で実施できる、体力・機能向上を目的とした運動について、有効で安心・安全な指導マニュアルの作成を学術部が中心となって進めています。

本会の大きな事業である各種スポーツ大会でのボランティア活動については、ケア・サポート活動は休止し、状況を判断しながら感染対策に留意したうえでの救護活動としなければなりません。会員の皆様にはご理解ご協力をお願いするとともに、本会の運営についてそれぞれの立場からご意見ご提言をお寄せください。

今後とも地域住民の皆様の健康増進と安心・安全の施術に努めて頂きますようお願い申し上げます。巻頭言といたします。

顧問ご挨拶

新年度スタートにあたって——



有言実行！ 皆様の努力が 正しく報われる政策を 打ち出してまいります

自民党政調会長代理・衆議院議員 馳 浩

公益社団法人石川県柔道整復師会の会員の皆様には日頃より大変お世話になっております。貴重な紙面をお借りしまして、改めて深く御礼を申し上げたいと存じます。また、コロナが未だ収束せず混乱の極みにある日常生活の中、感染の危険を顧みず、医療従事者として日々業務を遂行して頂いておりますことに深い感謝と敬意を表したいと存じます。なにより、感染防止策の徹底により会員・家族・関係者から感染者を出していないことに、皆様方の並大抵でないご努力に思いを馳せているところであります。ありがとうございます。

さて、皆様は「接骨院」として地域に溶け込み、私たちの外傷性の骨折・脱臼・捻挫等に対して適切な施術を行ってくださっているわけですが、もちろん柔道整復師という国家資格に基づき施術を行っていらっしゃるわけです。

しかし昨今、「カイロプラティック」や「整体」その他の手技等による医業類似行為が、法的な資格なく行われています。そして、あろうことか事故も起こっているわけです。

これは由々しき事態と言わざるを得ません。まずは国民の安心・安全面からして放置できない問題です。また、業として考えてみても、片

や時間・労力をかけて難しい国家資格を取得して初めて施術できるのに、もう一方が法的無資格で施術を自由に行えとなれば不公平でもあります。正直者、コンプライアンス遵守者がバカをみてはならないのです。

そこで、厚労省を中心に事故を含めた無資格営業の実態をしっかりと把握させ、再発防止に役立つ効果的な政策を打ち出していかねばならないと考えております。併せて、広く国民にもこのような事実を告知して注意喚起も忘れてはならないと考えます。

いずれにしても、本会のための「有言実行」を固く心に誓い、今年必ずある衆議院選挙に勝ち抜き、なお一層本会のお役に立てるよう一生懸命頑張る所存であります。

最後に、本会のご発展とご家族を含めた会員各位のご健勝を心よりご祈念申し上げまして、本会顧問としてのご挨拶とさせていただきます。



あえて「密」を求めて 地域社会に密接・密着した 貴会の活動に 深く感謝申し上げます

衆議院議員 佐々木 紀

令和3年の春を迎え、本年もよろしくお願い申し上げますとともに、コロナ禍にあって、今年はさらに強い気持ちで目の前の多くの課題に立ち向かっていく決意を新たにしているところです。

石川県柔道整復師会の皆様方には、日頃より絶大なご支援とご理解をたまわり、心より感謝申し上げます。私にとって、去年は国土交通大臣政務官という初めて政府内の職責を担う立場となり、多くの方々の支えと叱咤激励に胸を熱くすることが数多くあって貴重な経験となりました。その中で何とか職務を全うできたことを改めて感謝申し上げます。

さて、当面の喫緊の課題は、何といたっても新型コロナウイルス対策です。未曾有の感染症との戦いの中で、感染拡大防止と社会経済活動の両立を果たさなければなりません。

貴会におかれましても、社会生活を維持する上で必要なお仕事(エッセンシャルワーカー)として、感染予防対策をとりながら施術を続け、県民の健康増進、介護予防、スポーツ選手のケア等にご尽力されていることに、改めて深く感謝申し上げます。

また、柔道大会を通しての青少年健全育成活

動や各種スポーツイベントでの救護活動、近年頻発する災害現場でのボランティア活動など幅広く公益事業にもお取り組み頂いておりますことにも敬意を表します。

ソーシャルディスタンスやリモートワークなど、「密」を避けることが行き過ぎると、コミュニケーションまで奪われてしまい、人への思いやりや社会とのつながりを忘れ、生き甲斐や人間らしさが無くなった無味乾燥な社会となってしまう、その結果、心身にも悪影響が出てきています。

こういう時代だからこそ、地域や県民に密接・密着した貴会のご活躍が更に期待されとともに、昨年に創立95周年をお迎えになり、100周年に向け益々ご発展されますことをお祈り申し上げます。

顧問ご挨拶

新年度スタートにあたって——



コロナ禍で 接骨院と地域住民が 信頼関係で結ばれてい ることを確信しました

内閣官房副長官・参議院議員 岡田 直樹

令和3年の新年度を迎え、公益社団法人石川県柔道整復師会の皆様にはコロナ禍にも負けず、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より、県民の健康増進、介護予防、スポーツ選手のケアはもとより、公益事業を通じて被災地でのボランティアや各種イベントでの救護などの社会奉仕を实践され、柔道を通じての青少年の健全育成にもご尽力頂いておりますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスとの闘いも一年が経過し、何かとご不安ご不便のことと存じます。現下の試練に耐えて希望の光の差す新年度になるよう願ってやみません。私自身、全力を尽くして参ります。

おとし9月、内閣官房副長官に就任して1年半になります。その初めこそ天皇陛下ご即位の式典委員として一連の儀式をつつがなく終え、外交面では中国や中東を歴訪するなど順調な滑り出しでしたが、その後は予期せぬ新型コロナウイルス感染症との苦闘の連続でした。

昨年4月、緊急事態宣言下において、石川県柔道整復師会が休業要請の対象にならなかったことは、地域住民の健康維持に必要と認められた証であり、県内感染者数が増加する中でも万

全な対策で業務に励まれ、会員・家族・施術所から感染が生じていないことは、皆様お一人おひとりの強い責任感の賜物と拝察いたします。また、体調の悪い方が通院を控えたり、県外出張、とりわけ大都市に行かれた方は14日間の期間をあけて利用されるなど、患者さんの側からの気遣いも頂いたと伺っております。これすなわち「接骨院」が地域住民と相互の信頼で結ばれている証拠と確信した次第であります。

そして、いよいよ貴会は5年後に創立100周年の歴史的な節目を刻まれます。厚生労働大臣認可の資格を持つ皆様の地位の確立に向けて、私たち政治家は更にご意見に耳を傾け、ご要望の実現に努めて参らねばなりません。

官邸常駐の役目柄、なかなか帰郷もままなりません。が、「身は東京にあっても心は常に石川にあり」という気持ちで、ご支援頂いてきた皆様にご恩返しの働きをしたいと存じます。コロナ禍においては、必ずこの難局を打開し、命と暮らしを守り、ふるさと石川を再び発展の軌道に乗せるため最善を尽くす覚悟であります。

結びに、石川県柔道整復師会のますますのご発展と会員皆様やご一同様のご健勝を重ねてお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第46回

定時総会を開催

～役員改選、新体制で今年度がスタート～

令和3年5月16日(日)、新型コロナウイルス感染者の爆発的な増加が懸念される中、石川県地場産業振興センター本館で第46回定時総会が開催された。

入会者数の増加に向けて 柔道整復師のアピール活動を強化

ソーシャルディスタンスの確保、検温、消毒等の感染防止対策に万全を期して開催に臨みましたが、5月に入って県独自の緊急事態宣言発令、まん延防止対策等重点措置の適用など、感染状況は日ごとに厳しさを増し



会員の意見を尊重しながら、今後の事業活動のあり方について検討していきたいと嶋谷会長。

てきました。本会の定時総会においても各会員の感染の危険性を考慮して規模を縮小し、出席者と郵送による議決書をもって議決行使の対応がとられました。

開催にあたり物故者黙祷が行われ、二ッ谷剛彦副会長が開催を宣言。嶋谷清会長より、本会



出席者は48名、規模を縮小しての開催となった。

第46回 定時総会

午前11時20分
開会

総会員数／313名
出席者数／48名
委任者数／234名
欠席者数／31名

議長 坂井 秀一 会員(金沢南支部)
副議長 高出 伸也 会員(金沢南支部)
議事録作成人 川上 勝 会員(金沢南支部)
議事録署名人 嶋谷 清 会長
坂田 浩之 会員(金沢北支部)
河村 三紀 会員(金沢南支部)

を牽引して頂いた故久世正次元会長、故木山時雨特別顧問への感謝が述べられました。またコロナ禍における今後の事業活動については、縮小や感染対策等を含めて会員の意見を参考に進めていくことや事業中止に伴う余剰金について説明がされました。

最後に(公社)日本柔道整復師会でも今後、登録会員制として会員外の柔道整復師免許をお持ちの方に会の活動をお知らせするなど、入会者数の増加を目的としたアピールを開始するとの説明があり、本会会員にもご理解とご協力を願いたいとの挨拶がありました。

続いて議長、副議長が選出され、議題の審議に入りました。

1. 議題(審議事項)

第1号議案 令和2年度事業実施報告に関する件



坂井議長(左)、高出副議長により議事が進行された。

担当／川上 勝総務副部長
第2号議案 令和2年度収支決算報告並びに監査報告に関する件

担当／津田 佳之経理部長
第3号議案 その他

2. 報告事項

①令和3年度事業計画に関する件

担当／川上 勝総務副部長

②令和3年度予算に関する件

担当／津田 佳之経理部長

③その他

以上の審議が全て終了し、議長は退席となりました。

3. 改選期における理事選挙

担当／宇野幸治選挙管理委員長

中越昌人選挙管理副委員長

役員改選選挙の結果、会長・副会長・理事の計13名と監事2名が選任決議されたことが宇野選挙管理委員長から報告された後、堂本義邦副会長により閉会宣言が行われました。

なお、日整代議員選出については、石川県選挙区代議員に嶋谷清会員、二ッ谷剛彦会員、補欠代議員に堂本義邦会員、西川典孝会員が選出されました。

石川県柔道接骨師連盟総会

委員総数／313名 出席者数／48名
委任者数／231名 欠席者数／34名

議長 坂井 秀一委員(金沢南支部)
副議長 高出 伸也委員(金沢南支部)
議事録作成人 川上 勝委員(金沢南支部)
議事録署名人 嶋谷 清委員長
坂田 浩之委員(金沢北支部)
河村 三紀委員(金沢南支部)

本会の定時総会に先立ち、同会場にて午前9時30分から石川県柔道接骨師連盟総会が開催されました。

二ッ谷剛彦副委員長の開会の辞に続いて挨拶に立った嶋谷清委員長は、まずコロナ禍の大変な時期に出席して頂いたことへの感謝を述べ、「幸いにもまだ本会会員には感染者が出ていないが、状況は切迫している。更なる感染防止対策を行い日常業務に邁進して頂きたい。この度の総会開催についてもそれぞれのお考えがあると思うが、定款にもあるように開催が必須であることにご理解を頂きたい」と説明をされました。

続いて坂井秀一委員が議長に選出され、委任者数231名、出席者数48名により今総会が成立している旨の報告が行われた後、次の審議に入りました。

【議 事】

第1号議案 令和2年度事業実施報告に関する件

第2号議案 令和2年度収支決算報告並びに監査報告に関する件

第3号議案 その他

以上の議事が滞りなく決議され、堂本義邦副委員長により閉会の宣言がなされました。



会長、副会長、理事10名、監事2名の選任決議が報告された。

役員紹介

令和3年・4年度

役員紹介

役員一同、使命感をもって取り組んでまいります。
会員皆様のご協力をお願いいたします。



会 長
嶋谷 清

初心に戻り、新たな気持ちで 業界の発展のために尽くします

この度、5月16日に開催された第46回定時総会におきまして、再度会長職にご承認頂きました。再任に際し初心に戻り新たな気持ちで、会員のため、業界発展のために取り組みたいと思うと共に、その責任の重さを改めて感じているところであります。

山積する諸問題には、会員皆様方のご協力を頂きながら執行部一丸となって対処していきたいと思えます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

広く新たな視野をもって

この度、役員改選において会員の皆様より信任を頂き、前期に引き続き副会長職の重責を担うことになりました。昨期は、保険・事業・広報部を統括しながら、会員の皆様のお役に立てるよう努力してまいりました。皆様のご協力で深く感謝申し上げます。今年度も、皆様のためにより一層広く新たな視野をもって職務に専念する所存です。



副 会 長
二ッ谷 剛彦

堂本義邦副会長と新たな1名を含めた10名の理事とともに力を合わせながら嶋谷清会長を支え、執行部一丸となって、公益社団法人石川県柔道整復師会のために邁進していきたいと思っております。今後とも、ご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

有意義な活動へと邁進

この度、4期目の副会長という大役を頂き感謝申し上げますと共に、改めて責任の重さに身が引き締まる思いです。嶋谷清会長はじめ二ッ谷剛彦副会長、理事の皆様のお力を得ながら前期同様に総務部、経理部、学術部を担当し、本会発展のため職務を全うする所存です。



副 会 長
堂本 義邦

昨年来の新型コロナウイルス感染拡大によって、会務運営、各事業の形態が大きく変化しています。そのような中で新体制スタートとなりましたが、会員皆様、そして県民の皆様のために有意義な活動ができるよう役員一同、各位のご意見に傾注しながら邁進してまいります。

倍旧のご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

理 事



金沢南支部
西川 典孝
総務部長
金沢南支部長

理 事



能登支部
山田 俊志
広報部長
能登支部長

理 事



金沢北支部
真酒谷 清
保険部長
金沢北支部長

理 事



加賀支部
西 剛志
学術部長
加賀支部長

理 事



金沢南支部
津田 佳之
経理部長
法制委員長

理 事



金沢南支部
川上 勝
事業部長
SSI 委員長

理 事



加賀支部
森田 一哉
広報副部長
健康やわら体操普及委員長

理 事



金沢北支部
中西 勝
経理副部長
健康やわら体操普及副委員長

理 事



能登支部
山田 誠
総務副部長
IT 委員長

理事(新任)



金沢北支部
大平 和幸
学術・事業副部長
生涯学習・IT 副委員長

監 事



山下 純二(会員)



西 徹夫(会員外)

●各部・各委員のメンバー構成はホームページよりご確認ください。

URL <https://jyuusei-ishikawa.jp/yakuinn.html>



喜びの受賞者

施術を通して地域医療に貢献のあった3名の会員に
医療功労者石川県知事表彰状が贈られました。

これからも柔道整復業務に 邁進する覚悟です

この度、医療功労者県知事表彰を賜ることとなり、大変な感激と感謝の気持ちでいっぱいです。

平成3年に開業し、あっという間に30年が経ちました。

先輩会員より強い勧めがあり、本会入会4年後の何もわからない状態で理事になり、6年後には加賀支部長・学術部長の役職を拝命するこ

とになりました。

業務経験も学識も少ない私がなんとか役員として務められました

のも当時、支部運営と一緒に勤めた先輩理事、支部委員、学術部員の先輩会員の方々、そして温かくご指導頂いた先輩役員、事務局長、主任、事務局職員の皆様のお陰だと、ただ感謝いたしております。

現在はコロナ禍の厳しい状況下ではありますが、この受賞の喜びと感謝の気持ちを忘れずに、患者様の健康に少しでも貢献できますよう柔道整復業務に邁進する覚悟であります。

変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



松本 多市



受賞おめでとうございます！

定時総会にて、令和3年度表彰者の皆さんに表彰状が授与されました。

石川県
知事表彰

医療功労者表彰

松本 多市・中田 健市
折越 幸夫

新型コロナウイルス感染拡大の影響で谷本正憲石川県知事のご来場は叶わず、医療功労者には嶋谷清会長より表彰状が贈られました。

本会
会長表彰

役員功労表彰

真酒谷 清（役員在職10年以上）

永年会員表彰

北浦 健司・松井 文人
丸田 克幸・中田 順
村崎 優治・河合 正人
西 剛志（会員歴25年以上）

変わらぬ倫理観をもって これからも励んでまいります

この度、石川県知事表彰の栄を賜り、感激と感謝の気持ちでいっぱいであります。今回の表彰に際し、今日まで多くの会員諸氏からのご指導とご支援を頂いたお陰と感じております。

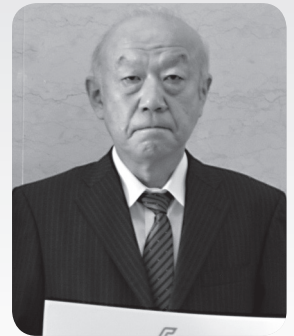
理事在任中は本会執行部の皆様、会員の皆様のお助けを借りて、金沢市の介護支援事業の契約ができました。学術部の折には日本柔道整復師会の役員の皆様、そして北信越ブロックの役員、会員の皆様のご協力のお陰でブロック学会の大役を果たせました。医療人講習会に際しては木島学園の碓井貞成先生に大変お世話になり深く感謝いたしております。すべては関わって頂いた方々すべてのお陰であると痛感しております。

また、私の理事スタート時の会長は、この4月に亡くられました木山時雨先生です。時に厳しく、時に優しくお声をかけて頂きました。

私の中では永遠に元気でいらっしゃる存在であり、私が理事を退任してからも「山に登っているか」とか「元気でやっているか」とのお声をかけて頂き、目配り、気配りの行き届いた尊敬できる大先輩でありました。改めて深く感謝申しあげるとともに、ご冥福をお祈りいたします。

昨今のコロナ禍の中、柔道整復師に対する社会的使命やニーズの変化がさらに加速すると感じております。しかしながら、柔道整復師としての変わらぬ倫理観を持ち続け、地域の皆様の健康増進の一助となるべく業務に励んでいきたいと願っております。

最後に皆様のご健康を祈念いたして稿を閉じます。ありがとうございました。



中田 健市

謙虚な気持ちを忘れることなく

この度、名誉ある医療功労者石川県知事表彰を賜ることとなり、誠にありがとうございます。今回受賞できましたのもひとえに、地域の方に支えられ、そして、石川県柔道整復師会会員としてやってこられたお陰だと思っています。嶋谷清会長をはじめ執行部の役員、各支部の役員、会員皆様方、事務局の皆様に改めて感謝申し上げます。

振り返れば、入会して30年が経ったのかと思うばかりで、ただただ反省の日々でした。これからも地域の皆様に助けられ、謙虚な気持ち

を忘れずにもう少し頑張りたいと思っています。今後とも皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

結びに、石川県柔道整復師会のますますの発展と、世界中のコロナ禍が一日も早く収束することを心より願います。



折越 幸夫

惜別

木山時雨先生を偲んで

お悔み申し上げます



第10代会長として、本会のみならず業界全体の発展に尽くされた。

木山先生 略歴

〈昭和〉	
52年4月	(社)石川県柔道整復師会入会
60年4月	(社)石川県柔道整復師会理事就任
〈平成〉	
7年4月	(社)石川県柔道整復師会副会長就任
13年4月	(社)石川県柔道整復師会会長就任
19年4月	(社)日本柔道整復師会常務理事就任
23年4月	講道館柔道八段に昇段
24年4月	「旭日双光章」受章
25年4月	(公社)日本柔道整復師会副会長就任

石川県柔道整復師会
第10代会長として本会の発展に
多大な功績を残された木山先生が
令和3年4月15日、
85歳の生涯を終えられました。
4月18日に行われた葬儀には
本会会員はもとより全国から
多くの方々が弔問に訪れ
先生のお人柄を偲びました。



旭日双光章受章祝賀会で祝福を受けられる木山先生と奥様。
県内外から約300人が駆け付けて開催された。

人並はずれた精神力で本会を導き

公益社団法人としての道筋を示して頂きました

木山時雨先生は昭和52年に入会され、昭和60年より理事・事業部長・総務部長・金沢北支部長を5期10年間、平成7年より副会長を3期6年間、平成13年には第10代会長に就任し、平成26年までの7期14年間を務められました。また平成25年には公益社団法人日本柔道整復師会の副会長にも就任、業界全体の発展に寄与されました。

長年にわたり柔道整復師として地域医療に貢献するとともに、本会会長に就任後は能登半島地震、東日本大震災被災地でのボランティア活動やサポート接骨石川(S S I)活動などの公益

活動を推進し、本会の公益法人化にも精力的に取り組まれた木山先生。その業績が認められて平成24年、国や公共に対し社会の様々な分野で功労のあった方々に贈られる「旭日双光章」を受章されました。

幼い頃より柔道に親しみ、青年期には厳しい鍛錬に明け暮れる日々を過ごした木山先生は、会長在職中の74歳で講道館八段に昇段されています。登山やスキーなどのスポーツを愛し、その人並みはずれた体力と精神力で本会を力強く牽引して頂きました。

地域の皆様のため、また本会の発展のためにご尽力頂き、本当にありがとうございました。

心からご冥福をお祈りいたします。(広報部)

追悼

嶋谷会長
弔辞より

まさに愛別離苦の思い

～今一度、本会の未来を語り合いたかった～

4月18日、金沢メモリアルホール アネックスにて執り行われた葬儀で、嶋谷清会長が贈ったお別れの言葉より一部抜粋して掲載いたします。

先生から入院加療中との連絡を頂いたのは昨年十月頃。電話でお話しされるご様子はお元気そうで、安堵しておりました。コロナ禍でお見舞いに伺うことも出来ず、この度の突然の訃報は私共にとって痛恨の極みでした。

永年、柔道家として刻苦精励を重ねてこられた先生が講道館柔道八段を取得した時、証書を手に大喜びされていたことを思い出します。選手時代からの百戦錬磨によって培われた強い精神力と見識豊かな人間性、溢れるリーダー性は他の追随を許さないものでした。会長職における先生の眼差しは鋭く、強烈なオーラを発しており、常に業界と本会の発展を目指してご活躍される姿は、我々会員にとって頼もしく誇らしいものでした。

会長職として本会を牽引して頂いた平成13年からの14年間、さらに先生は上部団体である公益社団法人日本柔道整復師会理事、常務理事広報部長、学術部長、副会長も歴任され、厚生労働省医政局との橋渡しとしてご尽力頂きました。また、北信越柔整専門学校の講師、助教

授として教壇にも立ち、後進の育成に努められました。

数々の功績により我が業界の最高榮譽賞である帰一功労賞、石川県知事表彰、労働基準局長感謝状、厚生労働大臣表彰、更に旭日双光章を受章されました。この叙勲は、我々会員にとっても大きな喜びであると同時に夢と希望を与えてくださいました。

個人的にはよく登山やスキーへご一緒させて頂き、楽しく過ごした時間が走馬灯のように浮かんでいきます。願わくは、今一度、先生の歌に興じながら本会の将来について語り合いたかったのですが、先生からご教示頂いた人の恩と義理、気配り、思いやりの心をしっかり守り、託して下さった思いを受け継いでまいります。まだまだ語り尽くすことは出来ず、まさに愛別離苦の思いです。木山時雨先生、本当に長い間お疲れ様でした。ゆっくりお休みください。

心からご冥福をお祈りいたします。

会長 嶋谷 清

生涯愛された登山とスキー。祭壇は美しい雪山をイメージして作られた。



山歩き友の会で訪れた富士山の見える三ツ峠山にて(2018年10月7日)。



WEB 学術講演会 2021



肩こりと物理療法 ～エネルギー変換熱療法

講師／北信越柔整専門学校理事長・校長
医学博士 碓井 貞成 氏

公益社団法人石川県柔道整復師会では、会員の学術・技能の向上を図るとともに地域の皆様への情報発信を目的に講演会等を開催してきました。コロナ禍の今年は感染拡大を避けるため、本会としては初めてのWEBによる学術講演会を実施。令和3年2月21日、柔整会館にて収録を行い3月8日からホームページ上で配信を開始し、一般の方にも公開しました。



PROFILE

順天堂大学卒。医学博士。
山の上クリニック理事長・院長。
専門は神経内科(頭痛・頸部痛・腰痛、脳神経疾患、運動器疾患)。
北信越柔整専門学校校長として柔道整復師の養成にもあたる。

肩がこるのは日本人だけ？

「肩こり」は、1986年に医学博士で瀬川小児病院の初代院長である瀬川昌耆先生によって「肩癰—特殊肩痛 Scapulargia specifica」と名付けられました。遡る1910年、新聞に連載されていた小説『門』の中に「肩がこる」という文言が初めて使われ、夏目漱石が作った言葉とも言われています。

英語ではneck pain、neck tension、neck stiffnessなどと表現されますが、日本語の「肩こり」に合った内容のものは無く、日本固有の症候と言われてきました。医学的病名ではなく症候名とされてきたのですが、近年、コンピューターやスマートフォンの普及で欧米でも肩こりの症状が増えてきました。それに従って論文も増え、「neck pain」と表記されることが多くなっています。

では、肩とはどの部位を示すのでしょうか。

欧米では肩関節を示し、日本では首、肩、肩甲骨周り、背中までの広い範囲で血流の滞りや筋肉の緊張が見られ、張りや重だるさや痛みなどを感じる状態を「肩こり」と表現します。

肩こりの背景にある疾患を疑う

肩こりには「本態性肩こり」と「症候性肩こり」に分類されます。

本態性肩こりとは、不良姿勢と筋力低下が大きな危険因子となり、頸部周囲にかかる負荷が増加し、筋の柔軟性を低下させて起こります。治療としては徒手療法や運動療法といった理学療法、貼布剤や消炎鎮痛剤の投与が有効です。

一方症候性肩こりは、以下のような身体疾患に起因するものが考えられます。

- 整形外科…頸椎症や肩関節疾患、胸郭出口症候群、頸肩腕症候群、手根管症候群など
- 内科外科…脳血管障害や多発性硬化症、脊髄腫瘍、脊髄内血管障害、心筋梗塞、胸部大



禁忌症例について丁寧に説明頂いた。

動脈瘤、帯状疱疹など

- 眼 科…眼精疲労、乱視など
- 耳 鼻 科…メニエール症候群
- 婦 人 科…更年期障害など
- 歯 科…顎関節症など
- 精神神経…うつ病、心身症など

整形外科領域では神経症状(しびれ)を主訴として来院されることが多いのですが、内科など症候性肩こりの領域が原因の場合もあり、見逃せば取り返しのつかないことになる危険性もあります。肩こりの背景にある原因疾患を的確に診断し、それに応じた治療が重要なポイントになります。

物理療法で治癒力を活性化

物理療法は柔道整復師にとって身近なものです。平成30年に10年ぶりに養成課程のカリキュラムが改訂され、それに伴い国家試験も改訂となります。そこで物理療法の重要性和知識を身に着けるために、本日は変換熱療法についてお話しします。

物理療法は、徒手的には与えられない物理的エネルギーによる刺激を生体に与えられるのが最大の特徴で、それを利用して生体の神経生理学的反応や科学的反応を引き起こすことにより、損傷部の治癒促進や疼痛抑制および神経筋機能の

賦括を促す治療法です。

物理療法の分類

- ①電気療法…低周波電流療法、中周波電流療法(干渉波)、その他
- ②温熱療法…
伝導熱療法—ホットパック療法、パラフィン浴療法、水治療法
輻射熱療法—赤外線療法
変換熱療法—
電磁波療法 ①超短波療法
②極短波療法
音 ①超音波療法
- ③光線療法…レーザー光線療法、その他
- ④寒冷療法…伝導冷却療法、対流冷却療法、気化冷却療法
- ⑤牽引療法…頸椎介達牽引、腰椎介達牽引
- ⑥その他…間欠的圧迫療法

変換熱療法

物理療法の中でも、肩こりによく用いられるのが変換熱療法です。

熱以外のエネルギーを体内に輻射し、生体内で変換して発生させた「エネルギー変換熱」を利用した治療法であり、電磁波や超音波などは体内で吸収されて熱エネルギーとなります。

- ①極短波療法(マイクロ波療法) …第二次世界大戦でレーダー電波として使われていた電磁波を温熱治療法として普及させたもので、特に水分を含む筋膜付近を温める生理作用がある。体内にペースメーカーや金属類が入っている患者への使用は禁忌。
- ②超音波療法…治療周波数は、筋膜までの浅層部位には3MHz、筋膜から骨までの深層部位には1MHzを使用。照射時間率100%を「連続」と言い温熱効果がある。また照射



碓井先生に柔整会館にお越し頂き収録を行った。

時間率20～50%の場合を「パルス」と言い、非熱効果(機械的効果)がある。患部の症状により、この2つの効果を使い分けなければならない。

本誌では簡単にご説明させて頂きましたが、貴会ホームページにて照射方法や効果などにつ

いて動画を使って説明しております。ぜひご覧ください。この動画が皆様の今後の業務に少しでもお役に立てれば幸いです。

● 本会ホームページから
講演会動画をご観頂けます。

[https://jyuusei-ishikawa.jp/
academic-lecture-2021.html](https://jyuusei-ishikawa.jp/academic-lecture-2021.html)



収録後、コロナ禍での学校運営のご苦労などについてお話を伺いました。

——本会として初めての試みでしたが、こういったWEBでの講演会配信についてどのような印象をお持ちでしょうか？

コロナ禍で社会状況が変わりニューノーマルの時代とも言われますが、WEB講演会もその一つだと思います。一部の学会では人数を絞って会場で開催し、それをWEBで配信するハイブリット方式が主流です。交通費や宿泊費の負担が減り受講者が増えた一方、コロナと戦う病院の先生も多く発表者の登録が減っていると聞いています。終息後もこのような講演会があってもよろしいかと思います。

——北信越柔整専門学校においても大変ご苦労されていると思います。WEBを利用した授業や講義など、工夫されていることがあれば教えてください。

初めの頃は手探り状態で混乱もしましたが、ZOOMを利用したオンライン授業に移行しました。1回目の緊急事態宣言が解除される頃は、半数登校、半数オンラインの分散授業の形を取り、3つの校舎に学年を分けて感染が起きても

他の学年に広がらないよう配慮しました。

——今回の講演では禁忌症例等についてもお話し頂きました。我々が業務を行う際に気を付けなければならない点、医師の立場から物理療法についてのお考えを教えてください。

医療従事者も社会的責任を問われる時代です。分類をしっかりと認識し、勉強して禁忌症への理解を深めなければなりません。柔道整復師は物理療法の専門家だと思います。運動療法などが中心のリハビリの分野でも物理療法を有効に活用し、治療法として確立していけたらと思います。

——本会会員、また未来の柔道整復師に対してひと言をお願いします。

ここ数年、学生の志願者は減少傾向にあります。新規開業者の減少も見られ、将来の選択肢の一つになれていない可能性があります。柔道整復師としての骨折や脱臼の保存療法だけでは成り立たない難しい時代になり、他になにかスペシャリストとしての地位を確立しなければいけないと思われます。





WEB SSIサポート講習会

開催日 ■ 令和3年3月6日(土) 19時～

会場 ■ 柔整会館2階



マラソンレース中の
偶発事故

マラソンレース中の偶発事故 — 救護所での予防と対策 —

チャットで質問をできるなど
ライブ感のある講習会だった。

令和2年度はコロナの影響でSSI活動を実施できない状況でしたが、コロナ後を見据えて、YouTubeによる会員限定ライブ配信で講習会を行いました。

講師は西川典孝会員。「マラソン中の偶発事故 救護所での予防と対策」をテーマに、過去の金沢マラソンでの救護の特徴や対策、レース中に多いケガや病気について説明がされました。会員はパソコンやスマートフォンなどから受講し、配信中にチャットで「脱水、高体温症や熱中症に陥った時に飲ませるのは、水やスポーツ

ドリンクでよいのか?」「多部位での筋痙攣は低体温症の対応でよいのか?」など多くの質問を投稿、講演後に西川会員から回答がありました。

本会として初めてのYouTubeによるライブ配信でしたが、ネットワークトラブル等もなく無事開催できました。

初めての試みでもあり、準備は入念に。



支部 だより

各支部で令和2年度 保険講習会を開催

本会保険部による保険講習会が、受付での検温、ソーシャルディスタンスの確保など細心の注意を払ったうえで開催されました。

「保険取扱について」をテーマに、講師の西川典孝保険部長から最近の保険取り扱いの注意点やコロナの本会への影響について詳細な説明がありました。また広告の制限についても説明がされた後、質疑応答が行われました。続いて、二ッ谷剛彦副会長より「コロナ禍における本会の対応報告や公益社団法人としての本会の将来性」に



西川典孝保険部長



二ッ谷剛彦副会長

ついて説明がなされ、参加した会員は真剣な眼差しで受講していました。

この厳しい状況下で本会会員は、一人の感染者も出さずに業務を行っています。本会は今後も、日常業務に奮闘する会員を全力で応援して参ります。

能登支部

令和2年11月29日(日)
七尾サンライフプラザ

金沢北支部・ 金沢南支部

令和3年1月17日(日)
ホテル金沢

加賀支部

令和3年1月31日(日)
小松市第一コミュニティーセンター



新体の常識

これまでの常識や対処法が、今は全く違う考え方になっていた！なんてことも珍しくありません。そんな“体の新常識”に迫ります。

～顎関節症編～

何と
**2人に
1人が経験！**



顎の痛みはかみ合わせが原因？ いえ、それだけではありません。

従来、顎関節症はかみ合わせ、顎関節の構造上の問題で起こるとされてきました。しかし最近では、構造上の問題に関節や筋に負担がかかる様々な要因が重なり合って起こる「多因子病因説」が考えられると言われています。いくつもの要因がタイミング悪く集まって、その人が持っている顎関節の耐久力を超えると症状が出るという考え方です。

【負担がかかる主な要因】

1. 解剖要因

顎関節や顎の筋肉の構造的弱さ

2. 咬合要因

かみ合わせの不良

3. 精神的要因

精神的緊張、不安・気分の落ち込み等の持続

4. 外傷要因

かみちがい、捻挫、打撲、転倒、交通外傷

5. 行動要因

- ①日常的な癖…必要がない時も上下の歯を接触させている、頬杖、受話器を肩で挟む、携帯電話やスマホの長時間操作、下顎を前方に突き出す、爪かみ、筆記具かみ、うつぶせ読書
- ②食事…硬固物咀嚼、ガムかみ、片側でのかみ癖

- ③睡眠…歯ぎしり、睡眠不足、高い枕や固い枕の使用、うつぶせ寝、手枕や腕枕
- ④スポーツ…コンタクトスポーツ（柔道、相撲など）、球技スポーツ、ウィンタースポーツ、スキューバダイビング
- ⑤音楽…楽器演奏（特に吹奏楽器）、歌唱（声楽、カラオケ）、発声練習（演劇等）
- ⑥社会生活…緊張が持続する仕事、コンピューター作業、精密作業、重量物運搬、人間関係での緊張

顎関節症の原因になる要因を一つひとつ取り除いていけばかなりの改善を見込めますが、それらの全てを特定することは困難です。しかし、上記の中で特に注目すべき要因は「必要がない時にも上下の歯を接触させている癖」で、ある医療機関の調査では来院された方の8割がこの癖を持っていたそうです。顎関節や筋肉に持続的な負担をかけるこの癖を治すことで、大部分の患者さんの症状が改善することも明らかになりました。

顎関節症を放置しておく、顎の痛みだけでなく食事の制限、栄養不足、睡眠の質の低下、ストレス、スポーツのパフォーマンスの低下などにも影響します。痛みをかばう動作や制限により他の関節や筋への損傷につながり、生活の質を落とす恐れも。日頃の習慣や小さな癖を見直し要因を取り除くなど、適切な対処が重要です。

第27回

石川県柔道整復師協同組合 通常総会を開催

組合員数／ 312名

出席数／ 48名

委任状／ 235名

令和3年5月16日(日)午前10時00分より、石川県地場産業振興センター本館において、第27回 石川県柔道整復師協同組合通常総会が開催されました。今年度も新型コロナウイルスの影響で、出席者と郵送による議決書をもって既に過半数の承認を得た形での開会となりました。

開会に先立ち橋本大衛理事長が、「本日からまん延防止対策等重点措置が適用されました。このコロナ禍であらゆる行事が中止となる厳しい状況ですが、組合員の皆さまの日常業務にメリットとなる活動を行ってゆきたい。協同組合は皆さまの相互扶助で成り立っています、今後もよろしくお願いたします」と挨拶を述べました。

その後、議長に坂井秀一組合員が選出され審議が行われました。



組合活動への協力に感謝を述べる橋本理事長。

【議 事】

第1号議案 令和2年度事業報告

担当／岡本 透総務委員長

第2号議案 令和2年度収支決算報告及び余剰金処分案並びに監査報告

担当／木藤 正幸財務委員長

監査報告／佐川 信之監事

第3号議案 令和3年度事業計画(案)

担当／岡本 透総務委員長

第4号議案 令和3年度収支予算(案)

担当／木藤 正幸財務委員長

第5号議案 役員改選の件(連記制無記名投票)

担当／岡本 透総務委員長

第6号議案 その他

担当／岡本 透総務委員長

以上、全ての議事承認が終了し、議長退席後に閉会となりました。

改選により選出された役員の皆さん。

新入会 紹介



よろしくお願いたします!



金沢北支部

令和2年11月25日入会

中村 洋平 (なかむらようへい)

生年月日 昭和52年4月12日

出身校 北信越柔整専門学校

住 所 金沢市栗崎町ルの21の1

接骨院名 栗崎なかむら接骨院

電 話 076-238-2311

特技・趣味 パソコン全般・ボウリング・柔道

EDITOR'S VOICE

私とカメラとストロボ

撮影がいつの間にか楽しみに これもストロボのお陰？

大袈裟なストロボを付けていると、撮影場所を譲ってもらえることも。
そして何より、目立つカメラがランナー達の視線をホイホイ集めてくれるのです。
究極、光らなくてもいいと思えるほどストロボはなくてはならない相棒。
なにしろ私は「ストロボ中野」ですから。

ストロボコレクション。
古くても全部光るのが自慢。

■ ストロボで、私の中の何かが覚醒

最初は嫌々でした。広報部ではずっと原稿を書いていたが、広報誌の写真にもデジタル化の波がやって来て、「写るんです」で誤魔化したりしていた私にもデジタルカメラが必要になりました。「ドーセ広報にしか使わんし、高いのはモッタイナイ」と、たまたま見た高田社長のテレビショッピングで、形は立派だけれど実は安いデジタルカメラを買い、半年ほどそのカメラで撮影していました。ところが昼間はとにかく、暗い室内ではうまく撮れません。じゃあストロボを使えばいいかと、ネットオークションで中古の「ニコン」のストロボを安い値段で落札。届いたストロボを何気にカメラに付けたその瞬間、「カッコイイ！すごくカッコイイ!!」と、私の中の何かが覚醒してしまったのです。

当時はちょうど高級カメラがデジタルへと移行する時期で、フィルムカメラ用のストロボがネットオークションなどで安く売りに出されて

おり、そのどさくさに紛れて様々なストロボを入手することができました。45年以上前のナショナルや東芝といった家電メーカーのストロボがいまだに光ることに感動しましたし、「メッツ」というドイツメーカーのストロボはどれも形が个性的で、何より「Made In Germany」の文字が中国製のシャツやパンツしか持っていない私のミーハー心を思い切り刺激してくれました。

もちろん古いストロボはデジタルカメラではそのまま使えません。カメラ側の調整が必要です。でも使いにくければ使わなければいいのです。私の場合、室内で行われる総会などではおとなしく1台のストロボで撮影しますが、昼間に開催されるマラソン大会やイベントの時は、わざわざ使わないストロボを2台もつけています。そっちの方が絶対カッコイイ。私はストロボを付けたカメラが好きなのです。

総会用



ストロボ1台でおとなしめに。

マラソン用



ストロボ2台の大袈裟カメラ。

■ カメラとはストロボを付けるための台？

見た目は大袈裟ですが、実は撮影は全部カメラまかせです。マラソンを撮るときもピントや露出はカメラに丸投げし、私はブレないようにしっかり構えて一枚でも多くシャッターを押すことだけに集中します。その瞬間は完全に「無」の境地となり、日々の面倒なことも広報部の取材に来ていることも忘れてしまっています。

そのうち、マラソン大会でカメラ目線をくれるランナーさんが妙に多いことに気がきました。このカメラは走る人からも目立つらしいのです。そういえば、なぜか周りの人が私に気を使って場所を譲ってくれるので「石川県はいい人ばかりだ」と思っていたのですが、どうやら大袈裟なカメラを持っているせいで本物のプロカメラマンと誤解されていたようです。申し訳ないけど、都合がいいので黙っていますが。

毎年このカメラで金沢マラソンを撮影していたところ、抽選に外れて沿道で応援していたコスプレランナーの「ビールマン」さんに「いつも写真を撮っている人ですね」と声をかけられました。「はい、いつも写真を撮らせてもらっています」と会話になり、撮影した写真を送ったのがきっかけで、彼の友達のコスプレランナーさん達とも知り合いになり、県内の大会でその

姿を撮影するのが楽しみとなりました。

「猿鬼歩こう走ろう健康大会」では、高校の同級生と40年ぶりに再会し、走っている写真を送ったことから同窓会の写真係になったり、25年間お世話になっている車の整備士さん家族に遭遇し、それ以来、毎年家族写真を撮るようになったりもしました。また書道パフォーマンスをしていた能登高校書道部の女子高生に大袈裟なカメラがなぜかウケて、みんなで「変顔」をして撮影。その写真を見たカミさんが「これ、この子たちのいい思い出になるんじゃない」と言うので、まとめて学校へ送ったのがご縁となり、顧問公認「能登高校書道部専属カメラマン」として地元イベントなどでの書道パフォーマンスの写真を撮りまくり、送りまくっています。

最初は広報部で嫌々始めたカメラでしたが、カメラを通じてたくさんの人と知り合うことができ、私の撮った写真が皆さんに喜んでもらえ、それが自分の喜びになるとは思ってもいませんでした。広報部でよかったと改めて実感しています。回る因果は糸車。

今はコロナでマラソン大会もイベントも開催出来ない時間が続いていますが、早くこの異常事態が終結し、ランナーや書道パフォーマンスの写真を自由に撮れる日常が帰ってきて欲しいと強く願います。

最後に、もし誰かに「あなたにとってカメラとは何ですか？」と聞かれたら私は自信をもって答えます。「写真を撮れるストロボの台です」。

広報部 中野 秀人



金沢マラソンで私に気づき手を振る中田会員。

声をかけてくれた「ビールマン」さん。あとで丁寧な礼状をもらいビビった。



「変顔」をしてくれた書道部の皆さん。写真は家族にも喜ばれたとのこと。



トピックス①

第34回(公社)石川県柔道整復師会会旗争奪少年柔道大会が中止に

毎年、県下20数チームが出場し、約400名を超える選手と多くの観客の熱気に包まれる本会主催の少年柔道大会が、昨年に続き中止となりました。5月に入っても新型コロナウイルスの全国的な感染拡大は続き、感染力が増した変異株の出現で重症化率が高くなり、石川県でも第4波の到来が懸念される状況です。本会執行部は、参加選手、選手の関係者、大会運営スタッフの安全を第一に考え、やむを得ず開催中止という苦渋の決断を下したものです。

競技内容も団体のみの対戦、無観客での実施とし、試合会場の入場者制限や消毒徹底など可能な限りの感染防止策を取り入れて、5月9日(日)の開催に向けて準備を進めてきましたが残念でなりません。特に6年生と監督やコーチ、毎日の練習を支えたご父兄の心情をお察しすると断腸の思いです。

来年こそは終息を迎え、松任啓武館の晴れ舞台で熱い戦いを繰り広げられることを願い、応援して参ります。



選手の皆さんをはじめ、大会関係者に配布される予定だったプログラムの表紙。

※石川県にも5月16日、まん延防止等重点措置が適用されました。

トピックス②

スキー同好会で戸隠スキー場へ



眩しいほどの好天に恵まれて。

令和3年2月21日(日)、組合員相互の親睦と融和を図ることを目的に、スキー同好会の活動を行いました。

マスク着用、手洗い、消毒、ソーシャルディスタンスを保つなど感染予防を肝に銘じて、早朝5時に柔整会館を出発、9時頃には長野県戸隠スキー場のゲレンデで滑り始めました。

絶好のスキー日和で眩しいほどの快晴、そして山頂からのコースは気持ちよく整備されています。圧雪されて締まったバーンを歳も忘れて我先に滑走し、遠くには後立山連峰から戸隠連峰、中央アルプスの大パノラマの絶景を満喫しながらの日帰りスキーでした。

コロナ禍の中でしたが、山林の澄んだ空気を吸い込みケガ無く無事に活動を終えることができました。健康な身体で思う存分に楽しめたことに心から感謝です。

❖10年ぶりに広報を担当することになりました。その間3名の広報部長にバトンが渡され、それぞれ工夫がされてきた広報誌に新鮮さを感じます。再び部長として、興味を持って閲読して頂ける広報誌づくりを優秀な部員と共に目指します。創刊号から本号までの広報誌113冊は本会HPから閲覧できます。久々にのぞいてみてはいかがでしょう。若い時の自分に会えますよ。
(山田 記)

❖2週間前より私が住む能美市でも、コロナワクチンの予約が始まりました。予約開始当日や翌日は施術所内でも、「スマホの予約は難しかったー」、「結局、うちの子にしてもらたわ」などの言葉が聞かれました。また、自分でできた人も「あんな普通の人は難しくて絶対できんわ」と言っていました。65歳以上の方が終わると次は私の番ですが、果たしてどうなることやら。
(森田 記)

❖コロナ禍の大変な時期に広報部をけん引された真酒谷清部長と山田誠副部長、永年にわたり部員を務めた五十嵐久智会員が卒業されました。本当にご苦労様でした。新しく山田俊志部長と森田一哉副部長、木藤正幸会員が加わってくれました。ちなみに山田部長は10年ぶり、木藤会員は2年ぶりの復帰です。そうです、広報部に関わったらもう逃げることはできません。だから3人とも、また帰ってきてねえ。
(中野 記)

❖先日「オノマトペって知ってる？」と聞かれました。調べたところ、物事の状態を表す擬態語、音を言葉で表す擬音語、人や動物の声を表す擬声語の総称だとか。「ふわふわ」「トントン」「ワンワン」などですね。特に日本語にはオノマトペが多く、上手に使うと効果的な「魔法の言葉」だそうです。最近悲しい話題が多いですが、言葉を考え読者に寄り添う記事を書きたいと思います。
(平林 記)

❖昨今のマスク文化で、髭を蓄える男性が増えたとか。そこで、私もそれに便乗しアゴ髭に初挑戦。黒いものが生えてくると思いきや、白いカビのようなものが生えてきました。今では玉手箱を開けてしまった品のない浦島太郎のようです。私的には海外の映画俳優を想像していたのですが…実際には難しいようです。やはり、素材の問題ですね。
(太田 記)

❖今年の4月、河野太郎行政・規制改革担当相が「将来的に霞が関からFAXを廃止し電子メールに切り替える」との方針を発表。先日、我が家でもFAXが壊れたので廃止することにしました。郵送からFAXへ、そして電子メールの時代…さてその次は何に置き換わるのでしょうか、なんとか世の中の移り変わりについていきたいと焦る日々。
(木藤 記)

❖桜の開花が早かった今年は、梅雨入りも早まりそうです。梅雨と言えば雨。雨の音にもいろいろあって、降り始めは「ぼつぼつ」「ばらばら」、細かい雨や長雨は「しとしと」、激しい雨は「ザーザー」。「ぼたぼた」「ぼつりぼつり」と雨だれが落ち、「びちゃびちゃ」「ちゃぶちゃぶ」と水が跳ねるなど、読むだけで情景が浮かびます。日本語の表現力はすごいですね。
(唐木 記)



ピバ・シティVOL.27 石整広報113 (2021年6月20日発行)

■発行所／公益社団法人石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp

■発行者／嶋谷 清

■編集者／山田 俊志・森田 一哉・中野 秀人・平林 祐一・太田 信幸・木藤 正幸・唐木 均



撮影 能登支部 山田 誠 会員
使用カメラ:Nikon D3100
レンズ:Nikon DX 18-55mm
絞り:A-mode ISO:AUTO

[おかえりなさい

～金沢港クルーズターミナル～]

2020年6月のオープン以来、コロナ禍によりクルーズ船の寄港が無かった金沢港クルーズターミナル。2021年4月2日、ようやく郵船クルーズ所有の豪華客船「飛鳥Ⅱ（5万444トン）」が寄港し、完成後初めて金沢の玄関口としての役目を果たしました。

クルーズ船の金沢港入港は実に551日ぶり、昨年度は予定されていた54本全てが中止となっています。今回の飛鳥Ⅱも乗客70名と少なめでしたが、本年度こそはコロナ感染予防対策を徹底して、この日を待ち望んだ方々に夢のような時間を提供してほしいものです。



公益社団法人 石川県柔道整復師会

石川県金沢市広岡2丁目3-26

TEL076-233-2122(代) FAX076-233-2196

E-mail ishiju@spacelan.ne.jp